

曲田山の桜並木に24個の新しい「ぼんぼり」が灯されました。リーダーの錦野さんが長い時間をかけて実現した取り組みで、3月21日の点灯式から4月の中旬まで、数多くの見る人を楽しませてくれました。また、ぼんぼりには、曲田山の桜を題材にした俳句や川柳などもつるされ、住民から130を超える歌が集まりました。今号から3回に分けて、想いのこもった素晴らしい歌をご紹介します。

ぼんぼりに採用された歌をご紹介します！

1

長谷田 加代子 語り聞かす花の交響曲田山
脇村 智養 雪洞に夜桜映ゆる曲田山
大上 修美 嫁ぎゆく娘とともに花見かな
山岡 恵子 海風に曲田の山の桜舞う
米田 つや子 市の光り集めて時めく桜かな
丹 丘 桜より桜へ桜花の道
細田 三代子 愛犬と花びら付けて戻りけり
細田 聡 街並みに色を添えたる花吹雪
大島 敦子 ベランダにあらがりて山の桜見る
荒浜 悦子 君と出会いしあの日は高校三年生
大下 昌仁 淡路春曲田桜で開幕し
増田 直美 花の山より砥のごとき茅渟海
武田 昌子 曲田山のサクラ酔い過ぎ夜中墓参り
入谷 晋市 出会い別れの花見宴
赤木 さえ子 故郷の桜を見せてプロポーズ
谷 照子 ぼんぼりに桜照らされ舞い踊る
今井 文代 待つことの楽しさを知る桜かな
富本 節子 曲田山おろし桜色香のレトロ街
木下 雅松 城とお庭に桜賑わい
前川 千代美 どこへ行く春は決まって曲田山
清水 昭男 益習の池面に届く花びらの
平野 絢子 花万葉眼下に拡ぐ城下町

山本 あけ美 桜舞ふ曲田の山に入日さす
米田 静子 りんご飴大口お化けの三姉妹
三根 香南 母よりも父思ひ出す花の下
平川 紅仁子 咲き満ちて海を背に山桜
森 敦子 爛漫の花に透けたる城下町
門口 佐代子 ぼんぼりに映ゆる夜桜美しかな
田中 美智子 ぼんぼりの灯りに映えるさくらかな
蛇持 玲子 夜桜で賑わいし山今一度
中西 茂美 梵鐘の響き渡るや花の山
小嶋 ますみ 花見来て迷子になった子今五十
長手 幸代 桜咲く愛し城下を幾度ながめん
山岡 仁美子 花冷や雪洞灯る城下かな
小谷 恵美子 城下町見晴らす丘の花雪洞
菅 礼子 桜咲き海見ゆるまで坂のぼる
楮 延治 曲田山花びら一つ猪口に浮き
高田 和泉 雪洞に集う笑みが照らす宵
片山 紀子 それぞれの思ひを込める桜かな
番所 静子 この街を見守る桜曲田山
池上 壽一 雪洞にさそわれ来る人らいて
大村 博子 桜散り会ふも別れも一区切り
前川 恒治 夜櫻や千客万来彩くなる
細川 武男 曲田山明日を夢見るさくらかな

第一弾の四十四歌！



2020 8 第8号

編集発行/
洲本外町地域まちなか再生協議会
〒656-0025 洲本市本町 4-5-3
洲本商工会議所内
TEL 0799-22-2571
FAX 0799-24-1550

よりあいち そとまち SUMOT

洲本外町地域まちなか再生協議会だより

洲本外町地域まちなか再生協議会・構成団体

- 洲本市商店連合会
- 本町五六商店街協同組合
- 洲本市本町商店街振興組合
- 洲本市七丁目商店街振興組合
- 八栄会
- 塩屋筋商盛会
- 堀端筋振興会
- レトロこみち協同組合
- 外町連合町内会
- 外町老人クラブ連合会
- 外町婦人会
- 城下町洲本再生委員会
- 洲本寺町会
- 洲本市社会福祉協議会



洲本市の外町。お城の堀のソトにある、ちょっとレトロな商店街とお寺のまち。毎月第3火曜日に開催している、まちなかの未来について話し合う会は、オンラインも活用しながら、島内・島外からもたくさんの方が集っています。外町の中にあるお店や公園、暮らす人。みんなが元気になれるような動きを生み出しています！



コロナで困っている淡路島出身の学生たちを応援したい！

福袋チーム

淡路島出身で島外の大学に通う一人暮らしの学生たちに「美味しい食材を届けたい!」というチームが誕生。京都の大学生の学生チーム「エスノ3ジョウ」と連携をして、やさしさいっぱい「ふるさと福袋」が届けられました！



しばらくお休みをしていた「より☆そと市場」が再スタート

市場チーム

毎回大行列であつという間に完売してしまう「より☆そと市場」。コロナの影響で4月からお休みをしていた市場を、多くの住民の皆さんの応援を受けて第2波に気をつけながら、8月1日(土)に再開!次回は9月19日(土)!



8丁目のトーチ・アトリエ前で「洲本の風景画 Saudade, Sumoto」展

アトリエチーム

8丁目のトーチ薬局跡が「トーチ・アトリエWalk Through Garely」としてウィンドウ展示。8月15日(土)から、地元の名物「わらびもちのおっちゃん」の100歳をお祝いするべく、洲本の風景画をテーマにしたグラフィックアート展を開催。

キャッシュレスチーム 20%還元セールがスタート!
9月7日(月)~11月29日(日)

こんな時期だからこそ、外町にあるお店を応援したい! キャッシュレスチームが、洲本外町地域商店街で使うことができるキャッシュレスの取り組みが、9月7日(月)から11月29日(日)まで行われます。その名も、「洲本八狸電子小判~KONOHA(このは)~」。洲本市外町地域の商店街参加店での買い物時に、スマホアプリ「chiica」または、洲本八狸カードの提示で、お買い物金額の20%相当分の電子小判「このは」がもらえます。貯まった「このは」は還元終了後の利用期間(12月30日まで)でのお買い物に、1このは=1円換算で利用できます。

洲本八狸電子小判 KONOHA(このは) 20%ポイント還元セール 総額4,000万円

9月7日(月)~11月29日(日)

洲本八狸電子小判「このは」を利用するとは?

スマホアプリをご利用の方

洲本八狸カードをご利用の方

かわいらしい八狸のイラスト入りのカードも登場しました

2020.4.21

▶時間 / 19:00 ~ 21:00 場所 / オンライン

第21回

オンラインで集まろう編



緊急事態宣言の真ただ中。月に1回の対面での寄り合いは難しい反面、せっかく作りつけてきた「よりそと」の火は絶やしたくないという声もたくさん集まりました。そこで、コーディネーター若狭さんからの提案で、ZOOMというインターネットを使った会議システムを利用したの集まりが実現。参加者は20人以上。スマホやパソコンから参加する人、誰かの家に集まって使い方を教えてもらう人、あと大阪や京都からの参加者もいて、まずは使い方を教えてもらったり、グループになって話をしてみたり。コロナの中でのつながりの大切さをみんなで確かめあうことができました。



2020.6.16

▶時間 / 19:00 ~ 21:00 場所 / オンライン

第23回

コロナと行政（経済復興）編

南あわじ市長 守本 憲弘さん



南あわじ市の守本市長がオンラインで登場してくださいました。移動の制約、イベントの中止、農業や漁業、観光など、淡路島がコロナで受けた経済的な打撃について。そして、これから求められる経済復興策などについて。いろいろな現状と取り組みについて、お話いただきました。注目すべきは、7月31日まで開催をしていた「がんばろう南あわじキャンペーン」。宿泊や日帰りコース料理などで市民が使った費用の約半分を補助するというもので、地元愛にあふれる南あわじ市では人気も殺到。地元住民が地元のお店を応援する優しい仕組み。外町でも参考にしたいですね！



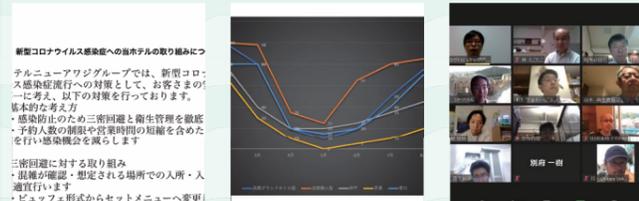
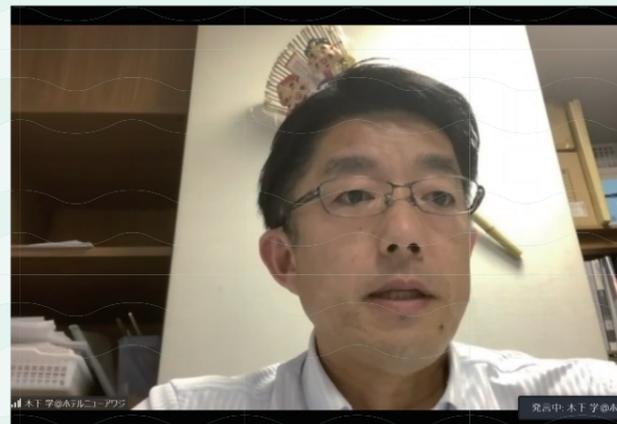
2020.5.19

▶時間 / 19:00 ~ 21:00 場所 / オンライン

第22回

オンラインでコロナと観光編

株式会社ホテルニューアワジ 木下 学さん



インターネットを使った寄り合いでは、コロナ禍の中で淡路島のホテルの影響を知りたいと、株式会社ホテルニューアワジの代表取締役である木下学さんをゲストに招き、コロナとともにどんな未来を描けるのかをみんなで考えました。緊急事態宣言の発令とともに、外国人観光客はゼロになり、国内の観光客が激減。ホテルニューアワジグループも大きな打撃を受けました。でも、「京都や四国よりも、淡路島には可能性がいっぱい!」。自粛解除とともに、大阪や神戸からの観光客が遊びに来るはず!と、メニュー開発や感染防止に向けて準備を進めていました。

2020.7.21

▶時間 / 19:00 ~ 21:00 場所 / オンライン

第24回

POWER TO THE AWAJISHIMA 編

スタンダー堂 植田 直樹さん



コロナが落ち着きを見せる中、3月以降、4か月ぶりに対面での寄り合いがコモード56商店街のスタンダー堂で開催されました。ゲストは、「POWER TO THE AWAJISHIMA PEOPLE」のポスターで島内を勇気づけてくれた、店主・植田さん。この勇気あふれるキャッチコピーはSNSを経由して全国に広がり、島外の他地域でもポスターとして地元を盛り上げているんですって! 前向きでチャレンジ精神にあふれた植田さんのお話にエネルギーをもらいつつ、実際にお店に集まった人、オンラインで大阪や京都から参加している人ともに、元気で再会できたことを喜びあいました。